

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 星野 克美

ポストコロナを見据えて
『第2次 欧州における放射性廃棄物管理の状況調査団』
派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

福島第一原子力発電所の事故を契機に、1970年代に運転を開始した多くの施設が運転を停止し、現在26基の原子力発電所が廃止措置段階にあります。

廃止措置工事が進むと多くの放射性廃棄物が発生しますが、これらを適切に処理・処分することは、廃止措置を計画通りに終了する上で必須の要件です。我が国において放射性廃棄物の管理（処理と処分）は、これからも長く取り組む重要な課題です。

他方、フランス、ドイツ、スウェーデンなどを始め、欧州では低レベルの放射性廃棄物処分、解体物の集中処理など、廃止措置で発生する放射性廃棄物の処分に向けた合理的な取り組みが進められています。

そこで、公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター（原環センター）様に後援をいただき、欧州における廃止措置段階の施設及び放射性廃棄物管理（貯蔵、処理、処分）施設を訪問して、今後の我が国の廃止措置及び放射性廃棄物の処理・処分に向けた取り組みに必要な知見や経験を調査します。

ご参加頂ける場合は、別紙参加申込書に必要事項をご記入頂き、参加者の名刺（和文・英文共）と、パスポートの顔写真部分のページのカラーコピーを添えて、**2023年6月19日（月）まで**に、一般社団法人日本技術者連盟宛 E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にお申込み下さい。
まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせ下さい。

皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

【特記事項】

ご参加いただける方は、以下の点についてご協力をお願い申し上げます。

1. 参加者は、新型コロナウイルスのワクチンを、日本出発前に3回以上に接種していること
2. 参加者は、海外渡航用のコロナワクチン接種証明書をお持ちであるか、取得可能であること
3. 参加者は、海外旅行保険に加入しており、その補償内容について把握していること

以上

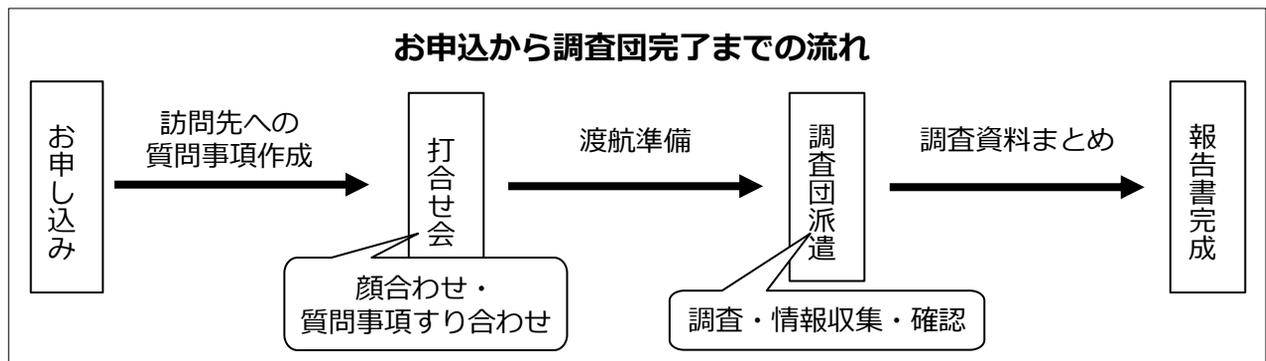
特記事項は、現時点での日本の水際対策に準じた措置としております。詳細につきましては、本連盟までお問い合わせ下さい。

【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、（Go and See）自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行き体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもある。また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脈の構築は二つ目の付加価値である。

一般社団法人日本技術者連盟
海外調査団/視察団推進センター

お申込から調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟



〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp>
URL: <http://www.wkx21c.org>

『第2次 欧州における放射性廃棄物管理の状況調査団』

参加要項

1. テーマ：『欧州における放射性廃棄物管理の状況調査団』
2. 期間：2023年7月22日（土）～7月30日（日）の9日間
3. 主催：一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後援：公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター（原環センター）
5. 団長：柳原 敏 氏 福井大学 客員教授 工学博士
原子力デコミッショニング研究会 会長
日本原子力学会 福島第一原子力発電所廃炉検討委員会 廃棄物検討分科会主査



■ 略歴 ■

1976年に旧日本原子力研究所（現日本原子力研究開発機構）に入所して、反応度事故時における燃料の破損挙動などの安全性研究、JPDR解体プロジェクト（1986-1996年）での廃止措置及び放射性廃棄物処理などに係る実務と研究開発に従事。また、バックエンド対策の全体の計画検討・企画などを担当。2014年から2022年まで福井大学・国際原子力工学研究所で特命教授として教育、研究に従事。主な研究分野は、原子力施設の廃止措置及び放射性廃棄物の処理処分。

- 1976年 日本原子力研究所入所、反応度事故時の燃料挙動に係る研究に従事
- 1982年 アイダホ国立工学研究所で国際協力による炉心損傷に係る研究に従事
- 1986年 動力試験炉（JPDR）の廃止措置に係る研究開発、実務に従事
- 2002年 バックエンド技術部次長、廃止措置等に係る実務及び研究開発の指導
- 2004年 企画室調査役として企画運営の業務に従事
- 2005年 日本原子力研究開発機構が発足
- 2007年 バックエンド推進部門副部門長、廃止措置及び廃棄物管理の企画運営に従事
- 2011年 退職、産学連携コーディネータ（福井大学 客員教授）
- 2014年 福井大学 大学院工学研究科 特命教授
- 2022年 福井大学 退職（4月から客員教授）
- 現在に至る

6. 調査団趣旨及び調査項目：（案）

欧州で進められる廃止措置段階の原子力発電所、低レベル放射性廃棄物の管理（保管、処理、処分）に係る施設を視察し、現場で働く技術者と議論を深める予定です。

- （1）原子力発電所の廃止措置で発生する低レベル放射性廃棄物の保管状況の調査
- （2）放射性廃棄物の減容化、安定化に係る技術及びその適用に係る調査
- （3）低レベル放射性廃棄物の処分場の視察とその管理の在り方に係る情報収集
- （4）解体物のクリアランスに係る検認及び住民への説明などに係る調査
- （5）原子力発電所の廃止措置に係る工事状況に係る実地調査



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.wkx21c.org>

7. 訪問先及び概要： 下記より3～4カ所訪問予定です。訪問先は都合により変更する場合がございますので、予めご了承下さい。

1) ドイツ

- ・**グライフスバルト原子力発電所（通称ノルト原子力発電所）** 旧東ドイツ最大の原子力発電所であるグライフスバルト原子力発電所の旧ソ連型加圧水炉5基は、ドイツ統一後、旧西ドイツの原子力法に基づく安全基準を満たさなかったため、1989～1990年にかけて順次運転を停止し、1995年以降廃止措置が進められている世界的にも規模の大きい廃止措置事例。原子力発電所から搬出された蒸気発生器及び原子炉圧力容器は、グライフスバルト近郊の貯蔵施設で保管されている。最終的にプラントは廃止措置され、原子力法の適用から除外される予定。
- ・**ジメルカンパ社** 主な取扱い製品はプレス成形装置。原発廃止政策を受けた措置で、需要減が見込まれる放射性廃棄物輸送容器（カスター）事業を縮小。他のタイプの放射性廃棄物用容器の生産と廃炉向け技術サービス事業を展開。同社は原発向け事業を子会社ジメルカンパ・インジェニエール・ウント・サービスを通して統括。傘下には放射性廃棄物用容器を手がけるジメルカンパ・ベヘルターテヒニク（SBT）と、廃炉技術サービスのジメルカンパ・NIS・インジェニエールゲゼルシャフト（NIS）を持つ。NISは2018年、東芝プラントシステムと技術協力の基本合意を締結。

その他の訪問先候補として、**コンラッド処分場・モルスレーベン処分場** 等

2) フランス

- ・**オーブ短寿命・低中レベル放射性廃棄物処分場** 原子力発電所からの放射性廃棄物に加え、核燃料サイクルや研究・産業界分野から発生した放射性廃棄物が処分されている。処分場の構成は、高さ8m、縦横25mのコンクリートピットからなり、操業期間は約60年間とされている。
- ・**モルヴィリエ極低レベル放射性廃棄物処分場** 主に原子力施設の解体や、低レベルの放射性物質を扱う非原子力産業サイト、放射性物質によって汚染されたサイトの除染から発生した極低レベル放射性廃棄物が処分されていて、操業期間は約30年間とされている。なお、この処分場は原子力基本施設ではなく、環境保護指定施設としての許可を受けて操業されている。
- ・**その他の訪問先候補としてビュール地下研究所** 等

8. **募集人員**：15名（最少催行人数8名）

9. **参加費**：¥1,800,000-（予定・税別）

※催行人数8名に満たない場合及び日程その他変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承下さい。

10. **通訳・プロジェクトマネージャー**：現地同行

11. **ホテル**：一人部屋

12. **総合事務局**：株式会社アジア技術移転機構

東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

13. **運営実施**：観光庁長官登録旅行業者

14. **申込方法**：添付申込書に必要事項記入の上、参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピーと名刺のコピー（和文・英文共）を添えて**2023年6月19日（月）までに**、

E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にお申込み下さい。すぐに担当者よりご連絡申し上げます。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。

15. **代金支払**：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

『第2次 欧州における放射性廃棄物管理の状況調査団』
日程表 (案)

2023年7月22日 (土) ~7月30日 (日) 9日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	7月22日 (土)	羽田 発 フランクフルト 経由 ハンブルク 着	LH 717 LH 34	11:45 19:05 21:30 22:35	羽田空港 発 フランクフルト空港 着 フランクフルト空港 発 ハンブルク空港 着 ハンブルク泊	機内食
2	7月23日 (日)	ハンブルク 発 シュトラールズント 着	IC 2212	15:43 18:53	Hamburg 中央駅 発 (Deutsche Bahn) Stralsund 中央駅 着 夕食時 結団式 シュトラールズント泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	7月24日 (月)	クライフスヴァルト シュトラールズント	専用車		クライフスヴァルト (ノルド) 原子力発電所 訪問 シュトラールズント泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	7月25日 (火)	シュトラールズント 発 ハンブルク 経由 パリ 着	IC 2213 EW 7406	10:46 14:33 18:10 19:45	Stralsund 中央駅 発 (Deutsche Bahn) Hamburg 中央駅 着 ハンブルク空港 発 シャルル・ド・ゴール国際空港 着 パリ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	7月26日 (水)	パリ オーヴ	専用車		オーヴ放射性廃棄物処分場 訪問 オーヴ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	7月27日 (木)	オーヴ モルヴィリエ パリ	専用車		モルヴィリエ放射性廃棄物処分場 訪問 パリ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	7月28日 (金)	パリ 発 フランクフルト 着	LH 1027	9:35 10:50 午後	シャルル・ド・ゴール国際空港 発 フランクフルト空港 着 ジンベルカンパ社 訪問 夕食時 解団式 フランクフルト泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
8	7月29日 (土)	フランクフルト 発	LH 716	午前 14:15	自由研修 フランクフルト空港	朝 ○ 昼 ×
9	7月30日 (日)	羽田 着		9:50	羽田空港 着	機内食

* 上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への専用車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 施設等見学費
- 団長、通訳、添乗員 同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日まで、企画手配部分としての取消料：10万円
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%（企画手配分を含む）
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2023年1月末日時点の運賃及び8名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用が変更になる可能性もございますので、予めご了承下さい。

参加における注意事項

I) 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 特に感染症について、帰国時に空港で陽性となった際の保証（隔離用ホテルの手配、空港から自宅までの送迎サービスの有無など）
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先

II) リスク管理について

本調査団の派遣は、専門家のアドバイスをもとに、以下の点に注意して実施致します。

- 訪問先各国の事情に関わらず、マスクは原則着用とする
- 現地移動手段は、極力公共交通機関を使用しないよう配慮する

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人日本プライバシー認証機構 会長 / 多摩大学 名誉教授
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元 一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター 理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

『第2次 欧州における放射性廃棄物管理の状況調査団』
参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行

※該当欄にチェックして下さい

 訪問先に持参する資料 有 (内容:) 無

フリガナ				 <p>メンバーリスト作成のため 顔写真をご提出ください</p> <p>●4cm×3cm ●脱帽・正面・背景無地 ●パスポート顔写真の スキャンでも可</p>
会社名・団体名				
英文名				
所属名/役職名				
英文名				
フリガナ		生年月日	西暦	年 月 日
参加者氏名		学位		
パスポート記載名 (ローマ字)		携帯電話番号		
E-mail				
勤務先	〒 住所	-		
	電話番号	FAX番号		
ご自宅	〒 住所	-		
	電話番号			
フリガナ				
担当責任者名	印			
所属名/役職名				
電話番号/E-mail				
旅券 (パスポート) について : 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)				
① はい	旅券番号 :	有効期限	西暦	年 月 日
② いいえ	<input type="checkbox"/> 現在申請中 <input type="checkbox"/> 旅券の作成代行を依頼する (有料)		<input type="checkbox"/> 自分で申請・取得する	
喫煙の習慣	有 ・ 無	強いアレルギーなど ございますか	有 () ・ 無	
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください (例 JAL1234567、ANA2345678)			

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みなられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス (以下「旅行サービス」といいます) を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催 : 一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950

FAX : 03-6229-1940